

市町村合併

Part 5

アンケート結果の報告

1月29日から2月15日に実施しました、「市町村合併に関する市民意向アンケート調査」にご協力いただき、誠にありがとうございました。このアンケート調査は、市町村合併に関する市民のみなさんの意向などを把握する目的で、市町村合併への関心の程度、合併の効果として期待することや心配なことなどについてお聴きしたものです。

今回のアンケート調査で、みなさんからいただきました貴重なご意見は、今後の富里市の市町村合併に対する取り組みなどの参考とさせていただきます。

問 企画課企画係 内線 288

●調査の設計

- ①調査地域…市内全域
- ②調査対象…市内に在住する満18歳以上の男女
- ③標本数……5,000（抽出率12.3%）
- ④抽出方法…単純無作為抽出
- ⑤調査方法…郵送による配布と回収

●回収結果

- ①回収票……1,755（35.1%）
- ②有効回収票…1,755（35.1%）
- ③無効票……0

●調査時期

平成15年1月29日～2月15日

回答者の属性

●性別

区 分	有効回収数	構成比 (%)
男	793	45.2
女	952	54.2
不 明	10	0.6
合 計	1,755	100.0

●居住年数

区 分	有効回収数	構成比 (%)
2年未満	76	4.3
2～5年	125	7.1
6～10年	213	12.1
11年～20年	538	30.7
21年以上	798	45.5
不 明	5	0.3

●年齢

区 分	有効回収数	構成比 (%)
18・19歳	47	2.7
20～29歳	195	11.1
30～39歳	255	14.5
40～49歳	293	16.7
50～59歳	451	25.7
60～64歳	185	10.5
65～69歳	128	7.3
70歳以上	195	11.1
不 明	6	0.4
合 計	1,755	100.0

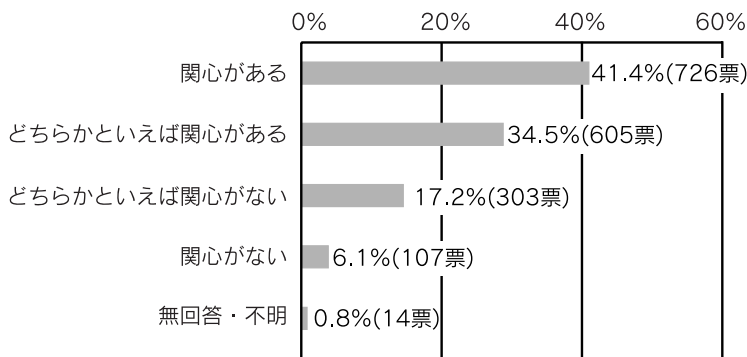
●居住地

区 分	有効回収数	構成比 (%)
日吉倉	59	3.4
久能	53	3.0
大和	46	2.6
根本名	127	7.2
七栄	500	28.5
新橋	52	3.0
中沢	63	3.6
新中沢	28	1.6
立沢	35	2.0
立沢新田	54	3.1
高松	5	0.3
高野	13	0.7
十倉	223	12.7
御料	120	6.8
日吉台	373	21.3
不 明	4	0.2
合 計	1,755	100.0

市町村合併に関する市民の意向

問5 市町村合併についてどの程度関心がありますか。(1つ選択)

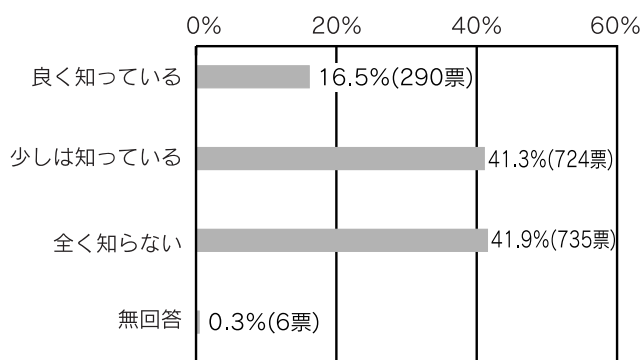
■回答票数：1,755 票



市町村合併について「関心がある」が41.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば関心がある」の34.5%となっており、両者を合わせると75.9%（1,331票）になり、関心の高さがうかがえます。

問6 市町村合併に係る国の特例制度（財政上の支援策など）の期限が、平成17年3月31日であることをご存知ですか。(1つ選択)

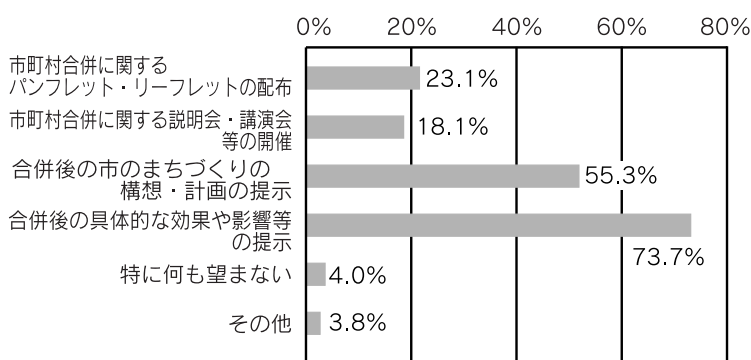
■回答票数：1,755 票



市町村合併に係る国の特例制度の期限については「全く知らない」が41.9%と最も多く、次いで「少しは知っている」の41.3%となっています。一方で「良く知っている」は16.5%にとどまっています。

問7 市町村合併を考えるにあたって、どのようなことが必要だと思いますか。(2つまで選択)

■回答票数：1,755 票

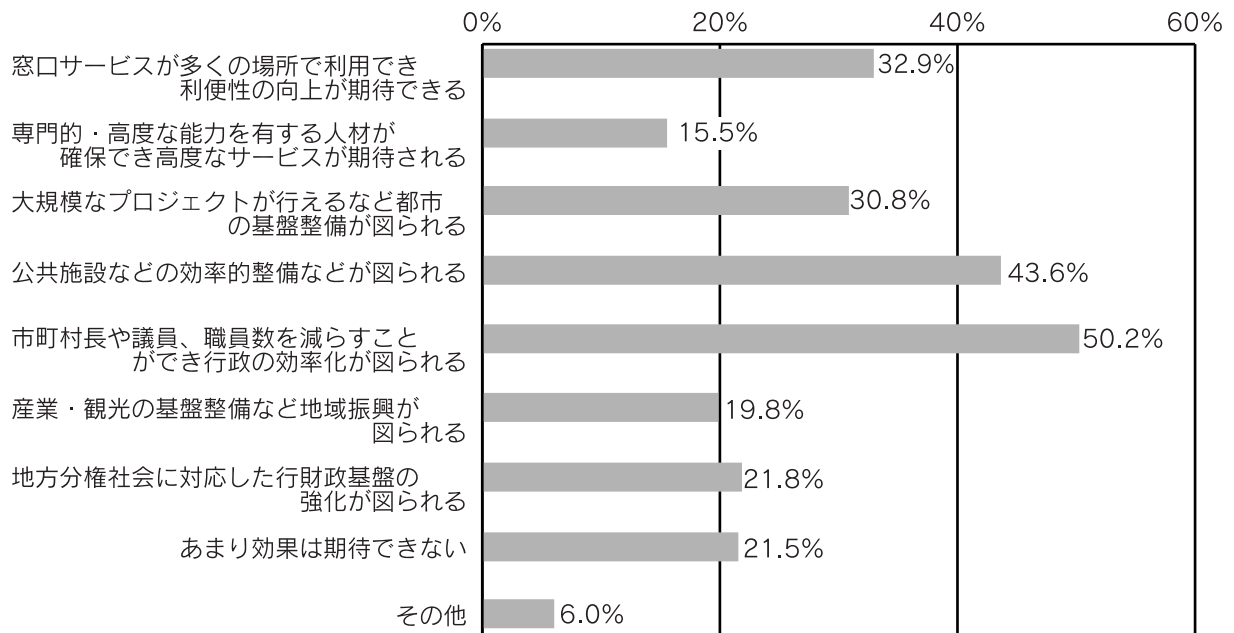


市町村合併を考えるにあたって必要なことについての回答率は、「合併後の具体的な効果や影響等の提示」が73.7%と最も多く、次いで「合併後の市のまちづくりの構想・計画の提示」の55.3%、「市町村合併に関するパンフレット・リーフレットの配布」の23.1%となります。

()内の数値は回答率を示す 回答率＝各項目の回答数／1,755×100

問 8 富里市が他の市町村と合併した場合、どのような効果を「期待」しますか。（3つまで選択）

■回答票数：1,755 票

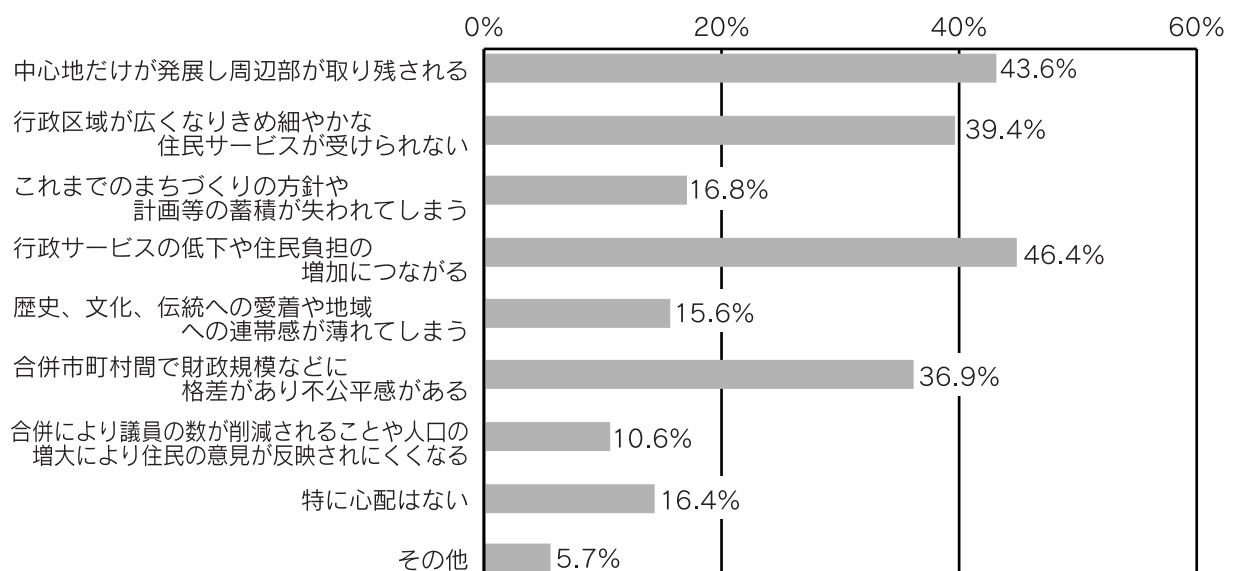


()内の数値は回答率を示す 回答率＝各項目の回答数／1,755×100

市町村合併した場合の期待についての回答率は、「市町村長や議員・職員数を減らすことができ行政の効率化が図られる」が50.2%と最も多く、次いで、「公共施設などの効率的整備が図られる」の43.6%、「窓口サービスが多くの場所で利用でき利便性の向上が期待できる」の32.9%、「大規模なプロジェクトが行えるなど都市の基盤整備が図られる」の30.8%となります。

問 9 富里市が他の市町村と合併した場合、どのようなことを「心配」しますか。（3つまで選択）

■回答票数：1,755 票

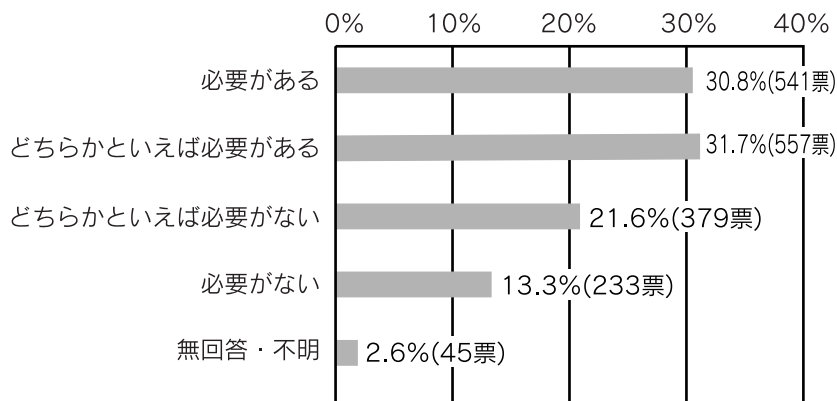


()内の数値は回答率を示す 回答率＝各項目の回答数／1,755×100

市町村合併した場合の心配についての回答率は、「行政サービスの低下や住民負担の増加につながる」が46.4%と最も多く、次いで、「中心地だけが発展し周辺部が取り残される」の43.6%、「行政区域が広くなりきめ細やかな住民サービスが受けられない」の39.4%、「合併市町村間で財政規模などに格差があり不公平感がある」が36.9%となります。

問 10 「富里市は他の市町村と合併する必要がある」とお考えですか。（1つ選択）

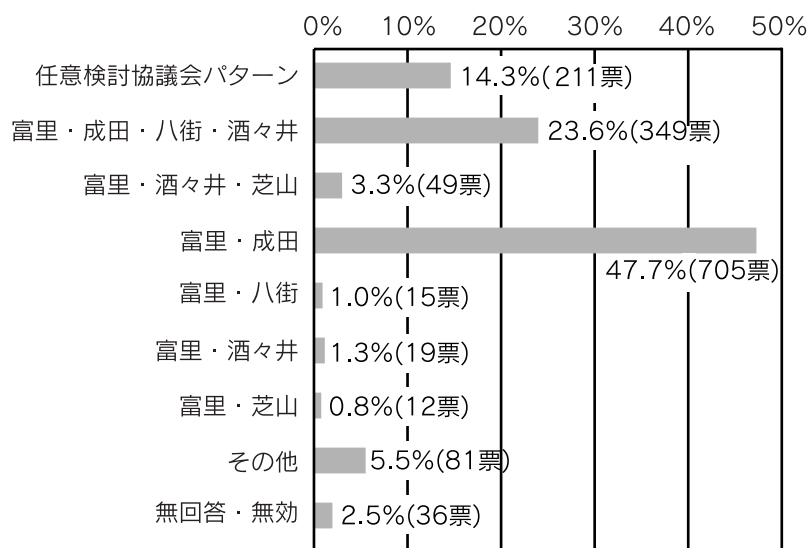
■回答票数：1,755 票



市町村合併の必要性についての回答は、「どちらかといえば必要がある」の31.7%が最も多く、次いで、「必要がある」の30.8%となり、両者を合わせると62.5%となります。

問 11 「問 10 で 1～3 と答えた方」にお尋ねします。市町村合併について他市町村と協議をする場合、どのような組み合わせがいいと思いますか。（1つ選択）

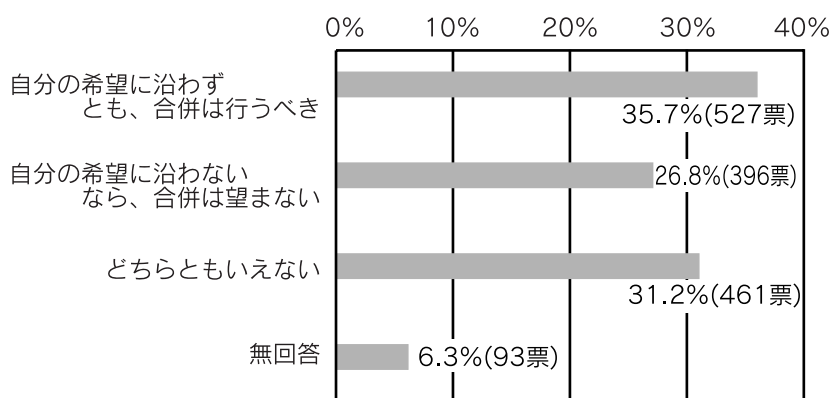
■回答票数：1,755 票



合併の組み合わせについての回答は、「富里市・成田市」が47.7%と最も多く、次いで「富里市・成田市・八街市・酒々井町」の23.6%、「任意検討協議会パターン」の14.3%となります。

問 12 「問 10 で 1～3 と答えた方」にお尋ねします。自分の希望する市町村と合併できなかった場合でも、他の市町村との合併を望みますか。（1つ選択）

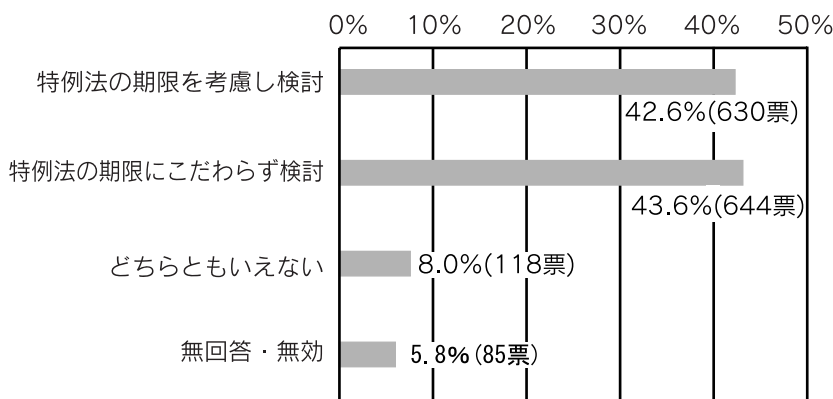
■回答票数：1,477 票



自分の希望する市町村と合併できなかった場合についての回答は、「自分の希望に沿わずとも、合併は行うべき」が35.7%、「自分の希望に沿わないなら、合併は望まない」が26.8%となります。

問 13 「問 10 で 1 ～ 3 と答えた方」にお尋ねします。市は、合併問題にどのように取り組むことが望ましいとお考えですか。（1つ選択）

■回答票数：1,477 票



合併問題への取り組みについての回答は、「特例法の期限にこだわらず検討」が43.6%、「特例法の期限を考慮し検討」が42.6%となります。

その他の意見

「合併する必要がある」と答えた人の主な意見

- 成田市と是非合併してほしい。市役所、保健センター、図書館、公民館等の公共施設が、市内の施設より利用しやすい。他市町村を含め老人福祉問題は国全体の問題ではあるが、せめて広範囲で支えあい考えていくべきだと思う。○どのようなパターンにせよ成田市を含んだ合併が好ましいと思います。
- 施設の整備やサービスを充実させるためには合併は必要だと思う。これを機に、より良い街になることを期待しています。
- 特定の地域ばかり豊かになって小さい所が取り残されないようじっくり検討してほしいです。
- 成田市を中心とした空港圏での合併により道路の整備や財政の均衡化を図ることができると思う。
- 議員や市役所の合理化を図り人件費を削減し、かつ行政として健全な自治体となれるよう効果的な合併を検討してください。地域の格差も問題ではあるが、まずは統合による効果の方に期待する。
- 特例法があるから合併するのではなく、遠い将来を考えたビジョンある合併を考えてください。

「合併する必要がない」と答えた人の主な意見

- 市制施行が行われ、これから富里市として発展していく途中で合併は考えられない。
- 富里は今のままで充分だと思う。独特の個性を生かして市政に反映して欲しい。
- 各市町村での伝統、文化などがなくなってしまう。
- 生まれてからずっと「富里」に住んでいるので、単純に合併後「富里」がなくなってしまうのは悲しいので合併は望みません。
- コミュニティはなるべく小さいほうが良い。地域への愛着や歴史を継承する上では必要な考え方だと思います。
- 合併によって財政問題や高齢化問題などが解決できるとは思えない。合併に関する情報をすべて公開して最終的に住民投票を行った方がよい。
- 支援策期限が近づいて急に合併検討が行われているような感じを受けます。現状で大きな不満はないし、特例法期限にあわせて急がないようにと思います。

アンケート調査の報告書については、市ホームページでの掲載をはじめ、市役所や各公共施設での閲覧もできます。

成田市議会において法定協議会設置議案が否決

3月5日、成田市議会において、空港周辺地域11市町村（富里市、成田市、栄町、下総町、神崎町、大栄町、栗源町、多古町、芝山町、横芝町、蓮沼村）による、法定協議会設置議案が否決されました。1市町村でも議案が否決された場合、法定協議会の設置はされないことから、事実上、この枠組みで市町村合併を検討することについては白紙に戻りました。

法定協議会の設置議案の提案については、2月16日に実施した第6回成田地域任意合併検討協議会において、11市町村の枠組みによる法定協議会の移行を目指すことで合意したもので、本市については、成田市議会で法定協議会設置議案が否決されたことから、同議案を3月議会に上程することについては、法的効力がないことから取り止めることとしました。

今後、本市としましては、市民の署名活動により提出された、8市町（富里市、成田市、栄町、下総町、神崎町、大栄町、多古町、芝山町）での法定協議会の設置請求などについて、合併特例法に基づき、適切な対応をしていきたいと考えています。

市町村合併は、地方自治体の存続に関わる大変重要な課題であり、また、本年2月に実施した、市民アンケートでは、市民の市町村合併に対する関心が高いという結果も出ています。

市民一人ひとりが合併について正しく判断できるよう、今後とも、最大限の情報提供を行い、市民や市民の代表機関である議会とともに、十分な検討を重ねていきたいと考えています。

富里の将来を考えるために

市町村合併に関する説明会とシンポジウムを開催

3月2日・6日の両日、中央公民館4階大会議室を会場に、「市町村合併問題市民説明会」を開催しました。

説明会の主な内容は、富里市の合併に対する基本的な考え方をはじめ、成田地域任意合併検討協議会での検討状況、近隣市町村の動向や、1月末から2月中旬にかけ実施したアンケート調査の中間報告などの説明を行い、活発な質疑応答が交わされました。

また、3月9日、中央公民館講堂を会場に「市町村合併シンポジウム in 富里」を開催しました。

このシンポジウムには、パネラーとして千葉県総務部市町村課市町村合併支援室室長の松永光男氏、「富里の合併を考える会」会長の中村恵政氏、自治体問題研究所主任研究員の池上洋通氏、市議会市町村合併問題調査特別委員会委員長の相川堅治氏の4人を招き、市町村合併の総体的な考え方や合併のメリット・デメリット、合併の取り組みなどについて、それぞれの見識から論じていただきました。

なお、今回の説明会とシンポジウムは、市町村合併に関する市民への情報提供や意見交換などを通じて、合併の状況などについて広く理解を深めることを目的として実施したものです。



● 3月2日、6日に開催された「市町村合併問題市民説明会」



● 3月9日に開催された「市町村合併シンポジウム in 富里」